

文芸コーナー

水害から街を守れ！
「水防演習」の一日

ほっとレポート

平和に暮らすわたしたちは、常に災害の危機にさらされていることを失念してしまいがちです。また、記憶に新しい東日本大震災や多発するゲリラ豪雨、アメリカで起きた竜巻災害など、自然災害はわたしたちの予想を超えた猛威を振るうこともあります。

「災害を未然に防ぐ」ということは、とても重要ですが、それと同様に「起きてしまった災害に対応する」ということも重要なことです。

成25年度水防演習」は、そうした災害の発生後を想定した訓練でした。当日参加したのは、市内および関係市の消防団で構成された水防団のほか、近隣市町の消防職員、民間の病院、自衛隊、一般の協力団体など合計約450人。朝早くから準備を行い、演習に備えていました。

現在、洪水とは無縁の印西市ですが、昭和13年、16年には大雨により大規模な洪水が発生しました。古い写真を見ると、利根川から溢れた水で、現在のJR成田線木下駅前まで水浸しになっているものも確認できます。「板東太郎」こと利根川の流域は、古くからこ



うした水害に見舞われていた土地なのです。演習では、水防団が伝統的な「水防工法」を行い、堤防の決壊を防いだり、水の流れを緩めたりする訓練が行われました。この工法は、もともと水害から家や田畑などを守るべく、木や竹、

土のう（土を入れた袋）などが使われているのが特徴。一見すると「時代遅れでは」と思われるものの、有事の際に手近にある材料で行う工法としては非常に有効的な工法です。

訓練は、台風の影響で利根川の水位が上昇、堤防に透水や崩壊箇所が発生した土のう（土を入れた袋）などが使われているのが特徴。一見すると「時代遅れでは」と思われるものの、有事の際に手近にある材料で行う工法としては非常に有効的な工法です。

①木、竹、畳などを使い堤防を補強②「かかれ！」の作業開始の合図に「オーッ！」と勇ましく堤防を駆け上がる団員たち③市内の造園組合や建設業災害対策協会など、多数の協力団体も参加

掲載情報は5月31日現在
☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383)

リサイクル情報広場

- ◆ゆづりませ情報 (有料の物は希望価格)
①プリンタ用詰め替えインク②プリンタ用インクカートリッジ③印旛中学校女子制服 (18号、20号)、体操服 (Lサイズ)、ブラウスなど④シングルベット⑤犬の洋服⑥ 船穂中学校女子制服・ジャージ⑦スキー服 (女性用) ⑧インクジェットプリンタ用インク7色 (1千円) ⑨しおん幼稚園帽子。

- ◆さがしています情報
①わだ幼稚園男児、園服および体操服②うす、きね③ロックミシン④大森小学校の体操服⑤ピアノ (アップライト) ⑥印西中学校の女子用制服と運動着⑦しおん幼稚園男児、女兒用ジャージ、男児、女兒用体操服 (大きめサイズ希望) ⑧天神幼稚園男児、女兒制服、ブラウスなど⑨犬用乳母車⑩ベビーカー。
※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



短歌

加藤恵美子選

ひとときに咲きたる白き花まぶし林の辛夷街の木蓮

小林 本間百々代

雨あとの新緑映す蓮池に泳ぐ緋鯉のくつきりと見ゆる

木下 服部 富枝

柿田川湧水を汲む列に入り喉を潤す一口うまし

大森 三ツ木絹江

寒椿活けたる床の間ことさらに華やいで見えしはし安らぐ

滝野 小原久美子

あぢさいの花咲くかげにひそやくく目鼻うすれし石仏温し

木刈 山本 清子

俳句

田口 三石選

住み古りし総はまほろば花卯木

内野 葛西 節子

薫風や若き世帯の隣組

竜腹寺 五十嵐栄子

跡継ぎの居らぬ谷津田の穀雨かな

大森 中澤 とし

春光やもどる歌舞伎座木挽町

小倉台 田中孝二郎

サングラス会釈を返し来たりけり

小倉台 川上 謙一

〈短歌・俳句をお寄せください〉

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

施設がいに★

中央公民館



▲中央公民館の外観。朝日に映えるレンガ色の外壁が目印です

利根川のほとり、ちょうど六軒川と弁天川が合流する場所に、きれいなレンガ色をした建物が建っています。一見、ホテルのようにも見えますがこの建物の名前は中央公民館(大森3934-1)。市内にある公民館の一つです。昭和54年2月に開館し、合併前から印西市の社会教育や生涯学習の拠点として活用されてきました。

同館は、文化ホールが無かった時代、成人式や健康診断の会場、さまざまなイベント会場としても役割を担ってきました。現在、市内にある公民館の中では古い部類に入りますが、5階建てのしっかりした作りで、風景も絶景。廊下からは筑波山、季節によっては富士山も見える部屋もあるそうです。



▲「マイペースパソコン塾」では東京電機大学の学生が個別に指導

場所はJR成田線の木下駅から徒歩5分程度。付近には昔ながらの町屋や土蔵があり、古き木下の姿をしのべます。同館の北側にはNPO法人印西市観光協会が主催する「いんざいぶらり川めぐり」の舟の発着所があり、いまの時期は、毎週お客さんがいらっしやいます。また、その発着所から市街地



▲主催事業の一つ「ジュニアコース」の宿泊研修(小見川少年自然の家にて)

同館では、多彩な主催事業も企画されています。東京電機大学の学生のみなさんが講師となって、パソコン初心者の指導を行う「マイペースパソコン塾」。子どもたちの企画力・実行力・リーダーシップをさまざまな活動を通じて養う

「ジュニア・コース」。キャンプ用具の利用講座・貸し出しを行う「デイキャンプのスズメ」など、子どもから高齢者まで参加できるイベントが盛りだくさん。特に子どもたちが公民館に宿泊し、学校に通ったり、食事を作ったりと共同生活を行う「通学合宿」は、県でも推奨され、市内では同館のみで開催されている事業です。夜には、もらい湯に近所の家にお邪魔したり、話を聞いているだけでも楽しそうでした。そして、忘れてはならないのが「みなづき祭」。本紙2ページでも紹介していますが、同館の利用サークルのみなさんが、日ごろの成果を発表するイベントです。ぜひ足を運んでみてください。

☎中央公民館(☎2911)